

# 登山関連ニュース 2026年3月28日

過去 24 時間以内に発生した登山活動に影響を及ぼす可能性のある情報を、重要度の高い順に整理しました。春山の登山は、残雪による遭難や冬眠明けのクマの活動、火山の状況変化など、特有のリスクが伴います。入山前に必ず最新の情報を確認してください。

## 登山関連ニュース一覧（重要度順）

重要度	項目	内容・登山活動への影響
最優先	山岳遭難（北アルプス・涸沢岳）	2026年3月26日、北アルプス・涸沢岳（標高3110m）付近で、群馬県在住のインドネシア国籍の男性（22）が行方不明となりました。27日も山岳警備隊やヘリによる捜索が行われましたが、発見には至っていません。標高2500m以上の高山帯では依然として厳しい冬山のコンディションであり、十分な装備と経験が不可欠です。
最優先	火山情報（岩手山・桜島など）	岩手山は噴火警戒レベル2（火口周辺規制）が継続中で、西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲で大きな噴石への警戒が必要です。28日午前中には北東方向への降灰も予想されています。桜島（レベル3・入山規制）、浅間山（レベル2・火口周辺規制）、草津白根山（レベル2・火口周辺規制）も活動が継続しており、規制区域内への立ち入りは厳禁です。
高	クマ出没情報（福島・北海道）	福島県（会津坂下町、猪苗代町、喜多方市）や札幌市中央区（藻岩山・大倉山付近）でクマの目撃が相次いでいます。冬眠から目覚めたばかりの個体は非常に空腹で気性が荒くなっている可能性があり、特に早朝や夕方の行動には注意が必要です。熊鈴やクマスプレーの携行を強く推奨します。
中	気象・なだれ注意報	28日は全国的に晴れ間が出る見込みですが、低気圧の影響で一時的に雨が降る地域もあります。気温が上昇するため、残雪のある山域では「なだれ注意報」が継続して発表されています。雪解けによる踏み抜きや、雪崩の発生しやすい斜面には近づかないよう注意してください。

重要度	項目	内容・登山活動への影響
中	登山道・道路規制（山形など）	山形県内の主要地方道（県道 15 号、27 号など）を含め、全国の多くの高山帯へ通じる道路で冬期閉鎖が継続しています。また、熊本県田子山森林公園のように車両通行禁止となっている箇所もあります。アプローチの道路状況も事前に確認が必要です。
低	山火事への注意	乾燥した空気と強風により、山火事が発生しやすい時期です。登山中のたき火やタバコの不始末は厳禁です。神鍋山では安全管理のもと山焼きが実施されましたが、一般の登山者も火の取り扱いには細心の注意を払ってください。

## 登山者へのアドバイス

- 1 **春山の厳しさを再認識する** 里山では桜が開花し春本番の陽気ですが、北アルプスなどの高山帯は依然として「冬山」です。涸沢岳での遭難事故が示す通り、一歩間違えれば命に関わる状況となります。自身の技術と経験に見合った山選びを徹底してください。
- 2 **火山情報の常時確認** 岩手山や浅間山など、活動が活発化している火山が増えています。登山届の提出はもちろん、ヘルメットの持参や、万が一の際の避難ルートの確認を怠らないでください。
- 3 **クマ対策の徹底** 冬眠明けのクマは非常に危険です。単独行を避け、音を出して自分の存在を知らせる、ゴミを捨てないなどの基本的な対策を徹底してください。
- 4 **なだれと踏み抜きへの警戒** 気温の上昇により雪質が不安定になっています。なだれのリスクに加え、踏み抜きによる負傷や疲労も遭難の原因となります。ワカンやスノーシューの活用、ルートの見極めが重要です。

安全で楽しい登山のために、事前の準備と冷静な判断を心がけましょう。